

BIOS マニュアル

BIOS セットアップユーティリティとは

BIOS セットアップユーティリティとは、BIOS の基本動作設定を確認・変更するためのツールです。

セットアップユーティリティは、マザーボード上のフラッシュメモリー (BIOS ROM) に格納されています。

このユーティリティで定義される設定情報は、マザーボード上の特殊な領域 (CMOS RAM 領域) に格納されます。この設定情報は、マザーボードに搭載されているバックアップ電池により保存され、システムの電源を OFF したり、リセットしても消えることはありません。

ONKYO 製パーソナルコンピューターシステム (以下、「システム」と記述) は、出荷時の BIOS 設定で最適動作するように設計されています。お客様自身によって BIOS 設定の変更を行う場合は、あとで現在の設定を参照できるよう、メモなどに記録しておくことを強くお勧めいたします。

システムに接続されている個々のハードウェア構成 (外部接続端子への接続を含む) や、お客様の使用環境によっては本書の表示との差違が生じる場合があります。

BIOS とは

BIOS とは、システムのハードウェアを利用または制御するための基本プログラムの一つです。

(BASIC In/Out SYSTEM: ハードウェアと OS の橋渡しの機能を司る)

搭載されている CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオシステム、チップセットなどの基本動作に関する設定情報を CMOS RAM 領域に保存し、システムが起動するときに前回設定値との内容を比較することで、本体に変化や異常がないかの自己診断を行います。

BIOS が使用する各種設定情報を確認・変更するためのプログラムが、BIOS セットアップユーティリティです。

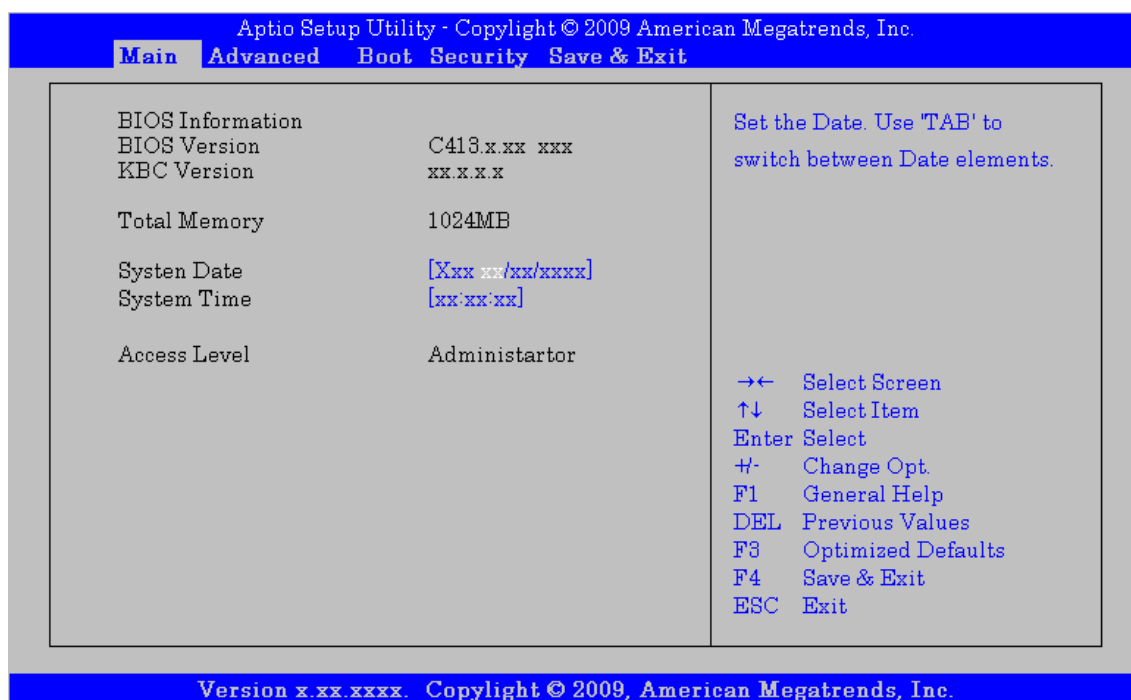
--- 注意事項 ---

BIOS 設定を間違えますと、システムの深刻なトラブルにつながる場合があります。
設定変更される際は十分に御注意いただくとともに、このマニュアルに
記載されている内容をご理解いただけない場合は変更を行わないことを
強くお勧めいたします。

BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、ならびに、
お客様によって設定されたパスワードの忘失に起因する動作不良につきましては、
保証期間中であっても弊社サービスセンターでの**有償修理**となりますことを
あらかじめご了承ください。

基本的な BIOS 設定

- BIOS セットアップユーティリティを起動する
 1. コンピュータの電源を入れます。
 2. ONKYO ロゴ画面が表示されたら、[F2] キーを押します。
 3. BIOS セットアップユーティリティが起動します。
- BIOS セットアップユーティリティを操作する



↑ / ↓	アイテムを選択します。
← / →	メニューを選択します。
—/+	値の変更をします。(Fn キーを押しながら青字の + / -)
F1	ヘルプを表示します(英語)。
DEL	変更した項目を破棄します。
F3	工場出荷時の設定をロードします。
F4	設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
ESC	セットアップユーティリティ もしくは メニューを終了します。
Enter	選択 もしくは サブメニューを表示します。

- BIOS を初期化する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit” メニューを選択します。
3. “**Load Setup Defaults**” を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Load Optimized Defaults / Load setup defaults?” が表示されたら、“Yes” を選択し [Enter] キーを押します。
5. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

- 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit “ メニューを選択します。
3. “**Save Changes and Reboot**” を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Save & reset / Save Changes and Reboot?” が表示されたら、“Yes” を選択し [Enter] キーを押します。
5. BIOS セットアップユーティリティが終了し、自動的に再起動します。

高度な操作

● デバイスの起動順位を設定する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Boot” メニューを選択します。
3. “**Boot Option Priorities**” にて、優先して起動したいデバイスを指定します。
4. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

● BIOS パスワードを設定・削除する

BIOS セットアップユーティリティの起動、コンピュータの起動などを制限できます。

ここでは、Administrator Password を設定する手順を紹介します。

(User Password についても同様の手順で設定することができます)

[BIOS パスワード:有効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Security”メニューを選択します。
3. “Administrator Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. “**Create New Password**” に設定したいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
5. “**Confirm New Password**” にて同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
6. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

[BIOS パスワード:無効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Security”メニューを選択します。
3. “Administrator Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. “Enter Current Password”と表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. “Enter New Password”と“Confirm New Password”には何も入れず、
空欄のまま[Enter]キーを押します。
6. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

パスワードの忘失について

パスワードを忘失すると、システムの起動ができなくなります。

User Password を忘れた場合は、Administrator Password で BIOS セットアップユーティリティを起動して、User Password を再設定してください。

Administrator Password を忘れた場合は、修理(有償)が必要となります。

無償修理期間であっても有償修理でのご対応となりますことを、あらかじめご了承ください。

参考

Main		
	System Time	時間を設定できます。
	System Date	日付を設定できます。
Advanced		
	Launch PXE OpROM	PXE Boot 機能を制御します。
	IDE Configuration	SerialATA の動作モードを選択します。 (必ず工場出荷状態にて御使用ください。 変更すると OS が起動しなくなります)
	USB Configuration	Legacy USB サポートを制御します。 EHCI Handshake のサポートを制御します。 USB デバイスやコントローラーのタイムアウト値を調整します。
Boot		
	Bootup Numlock State	起動時の NumLock 値を制御します。
	Quiet Boot	起動時の BIOS 画面を制御します。
	Boot Option	起動デバイスの優先順位を決定します。
	Hard Drive BBS Priorities	起動デバイスの詳細設定をします。
Security		
	Administrator Password	管理者パスワードを設定します。
	User Password	ユーザパスワードを設定します。
Save & Exit		
	Save Changes and Reboot	変更を保存してユーティリティを終了します。
	Exit Discarding Changes	変更を保存せずユーティリティを終了します。
	Save Changes	変更を保存します。
	Discard Changes	変更を破棄します。
	Load Setup Defaults	工場出荷設定をロードします。